

平成24年6月13日

四條畷学園小学校

「学校評価アンケート」の集計結果のお知らせ

学校評価アンケートの集計結果ができましたので、ご報告させていただきます。なお、回答回収率は保護者81%、児童96%です。

* 学校評価の実施方法

- (1) 実施時期：平成23年11月
- (2) 調査対象：小学校在籍の保護者及び児童全員
- (3) 評価項目：教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行う
- (4) 評価方法：各項目について5段階評価で行う
 - 5：強くそう思う
 - 4：どちらかと言えば、そう思う
 - 3：どちらともいえない
 - 2：どちらかと言えば、そうは思わない
 - 1：まったくそうは思わない

* 評価の重点目標

- ・ 建学の精神『報恩感謝』
- ・ 教育方針 個性の尊重・明朗と自主・実行から学べ・礼儀と品性
- ・ 平成23年度 小学校の目標
 - A 基礎学力の徹底
学習に自信を持たせるよう配慮し、意欲的態度や実行力の基礎養う。
 - B 個性の尊重
一人ひとりの興味関心を大切にし、だれにも自信を持たせる。
 - C 実行力の尊重
子ども自身の活動を重んじ、実行を助け、その結果を常に振り返るように指導する。
 - D 学習内容の精選
子どもの成長の糧となるもの、時代の要請に答えるべきものを見極め、「何をこそ学ばせるべきか」を熟慮探求する。
 - E 自律の手助け
「何を」「どの機会に」しつけるかを熟慮し、生涯にわたる自律の意識を育む指導を行う。
 - F 集団活動の充実
意識的に縦割り集団を組織したり、グループ活動を取り入れたりして「みんなできっしょに」「高学年を敬う」「低学年を育む」を常に考えさせる。

質問番号	質問項目	保護者評価	児童評価
1	学園小学校に入学させて(入学して)よかった	4.2	4.6
2	学校は、学力向上を目指して努力している	3.6	4.3
3	先生の教え方は、工夫されていて、わかりやすい	3.7	4.1
4	子ども達は、まじめに授業をうけている	3.6	4.1
5	学園小学校の行事は楽しい	4.2	4.7
6	学園小学校の「学校のきまり」はいいきまりだ	3.8	4.3
7	先生は、きまりやマナーについてきびしい	3.3	4.0
8	子ども達は、きまりやマナーを守っている	3.8	4.0
9	子ども達は、児童会活動をがんばっている	3.5	4.6
10	我が子は(私は)、学校で友だちとうまくいっていると思う	3.8	4.4
11	先生達と子ども達とは、うまくいっていると思う	3.9	4.1
12	学校は、けんかやいじめがあったらすぐに対応してくれる	3.6	3.9
13	制服やランドセル、体操服はよいデザインだ	3.7	3.9
14	学園での習い事やスクールは充実している	4.0	4.1
15	学校の設備施設は、充実している	3.7	4.0
16	学校の美化は、行き届いている	3.7	3.4
17	成績や生活状況の通知は行き届いている	3.6	4.2

* 概評

私たちは、四條畷学園の建学の精神であります「報恩感謝」の心を小学校でも基盤とし、現在に受け継いでいます。その上で、ひとり一人の個性をのびのびと育み、心の芽を伸ばすことを大切に、楽しい学校を目指しています。

さて、今年度も2学期末に「学校に関するアンケート調査」の御協力をお願いいたしました。お忙しい中にもかかわらず御回答をお寄せいただき誠にありがとうございました。現在、皆様方のアンケートの結果について検討を続け、次年度の教育活動に反映すべく会議を重ねているところです。これまで学校でまとめました保護者、アンケート結果について、本年度の本校の取り組みと合わせて報告させていただきます。

今年度は、『規律遵守の意識レベルの向上』『成績状況等についての説明』『学力の向上』を重点目標として取り組んでまいりました。

アンケート結果と照らし合わせますと、この3項目は、今年度の方策を踏まえながら、さらなる改善をめざし引き続き取り組むべき課題であると考えます。

「子どもたち自身がきまりやマナーを守っているか」という項目は、児童、保護者のどちらのアンケート結果も前年度よりも評価が向上いたしました。「しつけポスター」を各教室に掲示して教職員がマナーについて統一した基準をもうけ、「自律の手助け」を念頭に置いた指導を心がけていることが、この変化に現れていると考えております。本年度はこれらに加え、教員に行動の規範を自

ら示すことを促してきましたが、指導の厳しさという点では、まだまだ努力が必要であると考えます。この点をふまえ、次年度も継続して子どもたちのしつけ、マナー向上に力を注いでまいります。

「学力の向上」については、「書き、まとめる」「書いて考える」「書いて交流する」授業を組み立てることで、言語力とコミュニケーション能力が相関的に向上する方策をとりました。国語、算数という、いわゆる基幹学力だけではなく、社会、理科（科学）、あるいは体育や芸術科目にいたるまで、機会を捉えては「書く」作業を多く取り入れました。また、教員相互が指導を建設的に評価し合い高めあうために、校内研究授業を繰り返し実施し、全教員が授業を公開し合いました。さらに家庭学習に関する学校の見解を示し、保護者の皆様に家庭学習に対するわれわれの考え方をご理解いただくよう努めました。

児童のアンケート結果と定期考査の結果をみますと、基礎、基本について、一定の成果が上がっております。全ての子どもたちに分かる喜びをもってもらうため、今後も研鑽を深めてまいります。

「成績状況等についての説明」の評価は、児童の評価が向上、保護者の評価は前年とかわらざる結果となりました。本年度は、「やる気を持たせるための成績通知模索」をめあてとして、通知内容と通知方法の改善を検討し、保護者の皆様と子どもたちが継続的に学習到達度を把握できる通知を実施しました。学級通信や学年通信を含め、今後も内容の改善に努め、保護者の皆様にも満足していただける通知をめざしてまいります。

その他のアンケート結果をみますと、『けんかやいじめがあったらすぐに対応してくれる。』『教室の美化は、行き届いている。』といった項目の評価が相対的に低いことが分かります。評価は、特に高学年において各担任にばらつきが見られましたので、個別にアドバイスをし、改善に努めるよう促しました。

一方、90%以上の保護者の皆様から『学園小学校に入学してよかった。』『学園小学校の行事は楽しい。』『習い事やスクールが充実していて楽しい。』といった設問では、今年度も良い評価をいただきました。また、『先生と子どもたちとは、うまくいっている。』『学校のきまりはいいきまりだ。』といった設問でも、学年で差があるものの、まずまずの評価をいただいていると感じます。更に改善し、充実させてまいります。

これからも、子どもと保護者と先生が信頼しあえる関係をしっかりと築き、語り合っただけ成長できる環境を整えていきたいとも考えています。そして、この結果を受けて、次年度以降の取組を再検討し、一層学校改善に努めて参りたいと思っておりますので、今後とも保護者の皆様方の御協力・御支援をよろしくお願いいたします。